



登録図形の準備

登録図形の準備	1
グループの解除	1
補助線の作図	2

シンボルの登録

シンボルの登録	3
---------	---

シンボルの配置

シンボルの配置	4
---------	---

機器の登録

腰掛け式便器の登録	5
洗面器の登録	10
3Dの登録	15

機器の配置

機器の配置	17
-------	----

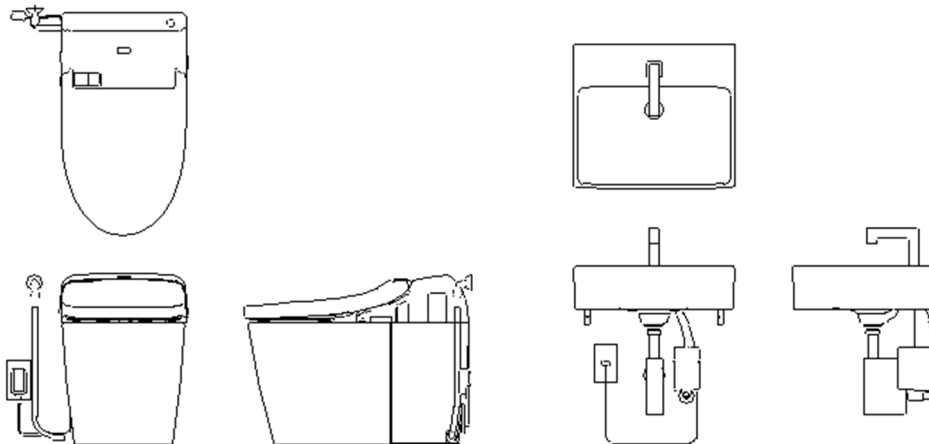
機器のバックアップ

MasterUtilityの起動	18
エクスポート	19
インポート	21

登録図形の準備

● 登録図形の準備 ●

登録するデータを準備します。



● グループの解除 ●

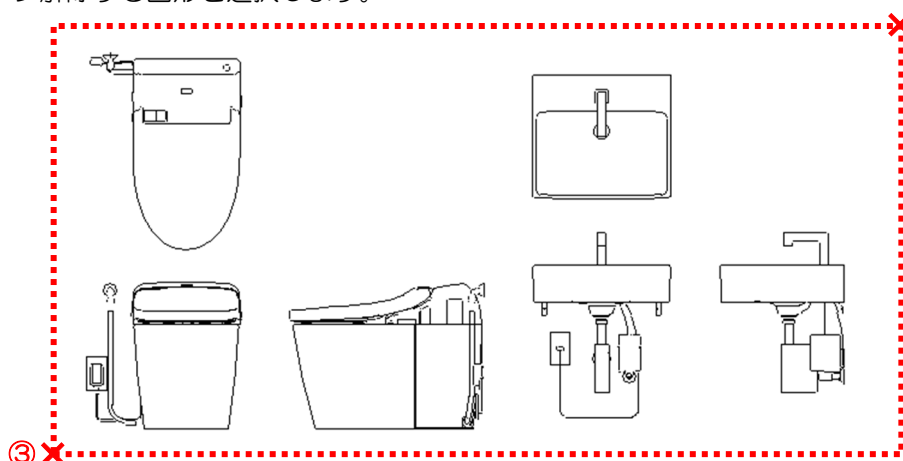
登録するデータがグループ化されている場合は、グループを解除します。
機器登録の場合は、この操作は必要ありません。

① [基本作図]タブをクリックします。



② [グループ化]-[グループ解除]コマンドを実行します。

③ グループ解除する図形を選択します。



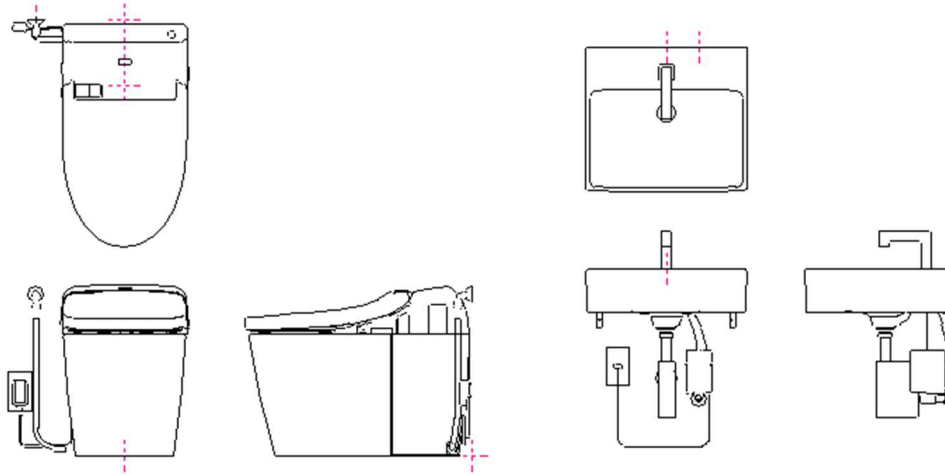
④ 右クリックで確定します。

※ 複数回グループ化されている場合があります。「選択不可：部品種類が対象外です」のメッセージが表示されるまで③～④の操作を繰り返します。

▼選択不可：部品種類が対象外です

● 補助線の作図 ●

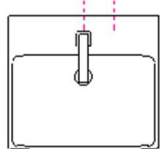
基点、接続点の位置を登録しやすいように補助線を作成しておきます。



シンボルの登録

● シンボルの登録 ●

シンボルとして一般図形を登録します。



① [基本作図]タブをクリックします。

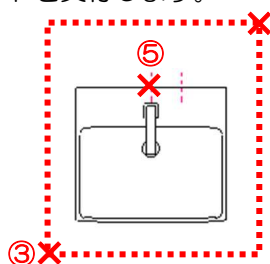


② [図形挿入]-[シンボル登録]コマンドを実行します。

③ 登録する図形を選択します。

④ 右クリックで確定します。

⑤ 基点をクリックします。



⑥ 保存するフォルダを選択します。



⑦ ファイル名をキー入力します。

⑧ <保存>ボタンをクリックします。

シンボルの配置

● シンボルの配置 ●

① [基本作図]タブをクリックします。

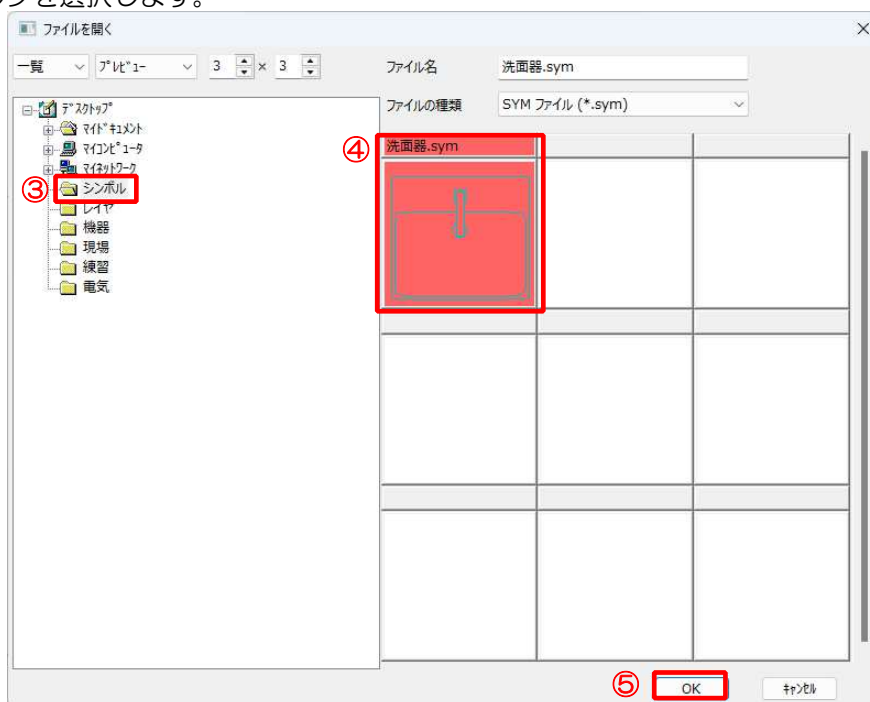


② [図形挿入]コマンドを実行します。

③ シンボルが保存されているフォルダを選択します。

④ 挿入するシンボルを選択します。

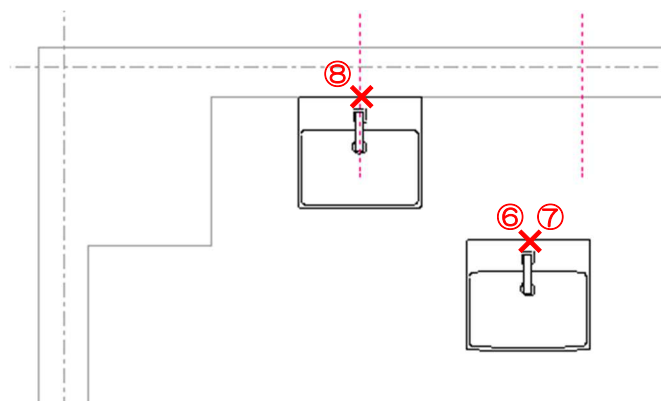
⑤ <OK>ボタンをクリックします。



⑥ シンボルを仮置きします。

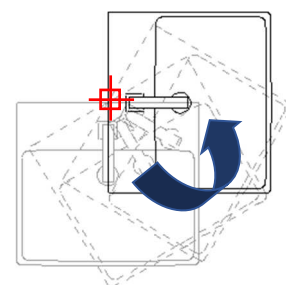
⑦ 配置基点をクリックします。

⑧ 配置位置をクリックします。



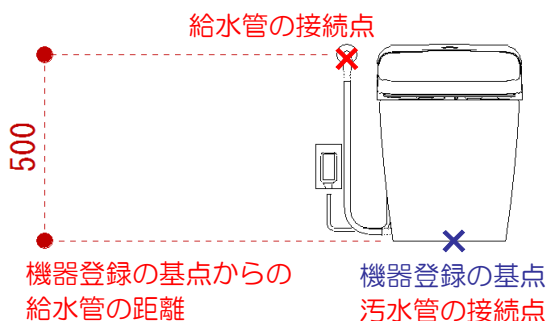
シンボルの角度

コマンドプロパティの「角度」へキー入力か
キーボードの矢印キー（[←][→]）でシンボルの角度を指示できます。



機器の登録

● 腰掛け式便器の登録 ●

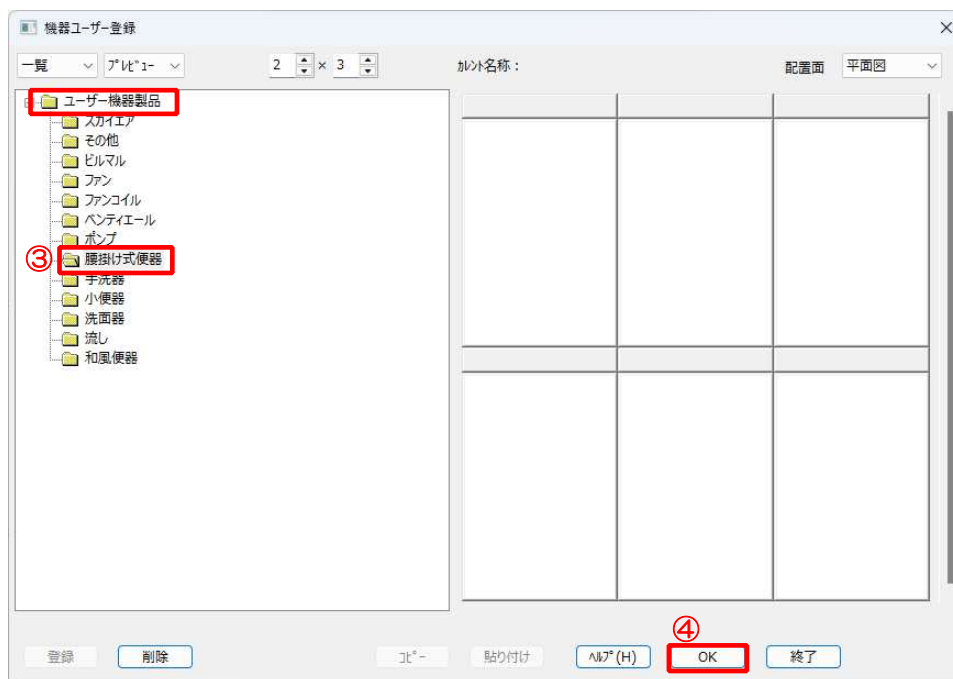


① [衛生]タブをクリックします。



② [機器]-[機器ユーザー登録]コマンドを実行します。

③ 左側の階層表示より「ユーザー機器製品」-「腰掛け式便器」を選択します。



④ <OK>ボタンをクリックします。

⑤ 「型番」に機器の型番をキー入力します。

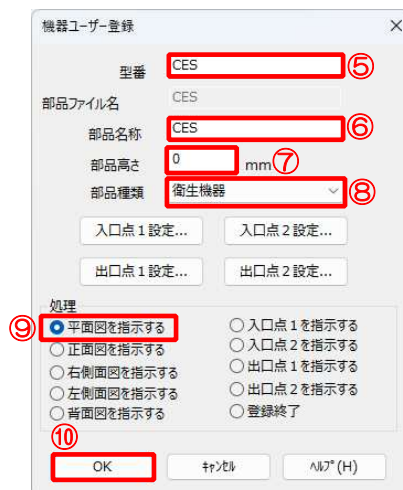
⑥ 「部品名称」に機器の名称をキー入力します。

⑦ 「部品高さ」に「0」とキー入力します。

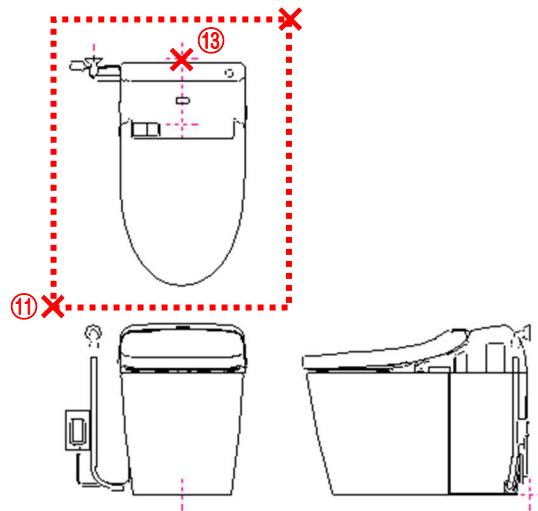
⑧ 「部品種類」から「衛生機器」を選択します。

⑨ 「処理」から「平面図を指示する」を選択します。

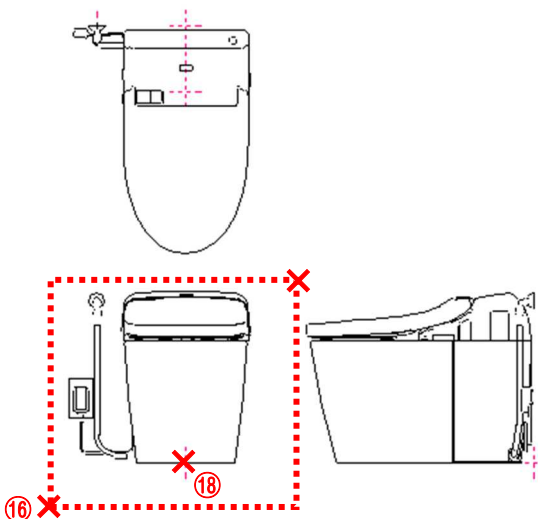
⑩ <OK>ボタンをクリックします。



- ⑪ 平面図を選択します。



- ⑫ 右クリックで確定します。
 ⑬ 基点をクリックします。
 ⑭ 「処理」から「正面図を指示する」を選択します。
 ⑮ <OK>ボタンをクリックします。
 ⑯ 正面図を選択します。



機器ユーザー登録

型番 CES

部品ファイル名 CES

部品名称 CES

部品高さ 0 mm

部品種類 衛生機器

入口点1設定... 入口点2設定...

出口点1設定... 出口点2設定...

処理

☒ 正面図を指示する ⑭

☐ 平面図を指示する

☐ 右側面図を指示する

☐ 左側面図を指示する

☐ 背面図を指示する

☐ 入口点1を指示する

☐ 入口点2を指示する

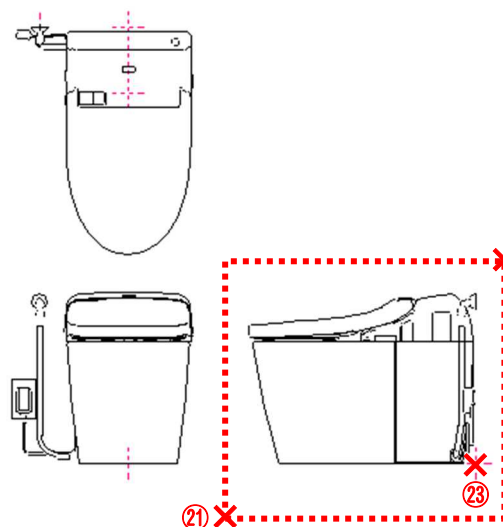
☐ 出口点1を指示する

☐ 出口点2を指示する

☐ 登録終了

⑮ OK

- ⑰ 右クリックで確定します。
 ⑱ 基点をクリックします。
 ⑲ 「処理」から「右側面図を指示する」を選択します。
 ⑳ <OK>ボタンをクリックします。
 ㉑ 右側面図を選択します。
 ㉒ 右クリックで確定します。
 ㉓ 基点をクリックします。



機器ユーザー登録

型番 CES

部品ファイル名 CES

部品名称 CES

部品高さ 0 mm

部品種類 衛生機器

入口点1設定... 入口点2設定...

出口点1設定... 出口点2設定...

処理

☒ 右側面図を指示する ⑲

☐ 正面図を指示する

☐ 平面図を指示する

☐ 左側面図を指示する

☐ 背面図を指示する

☐ 入口点1を指示する

☐ 入口点2を指示する

☐ 出口点1を指示する

☐ 出口点2を指示する

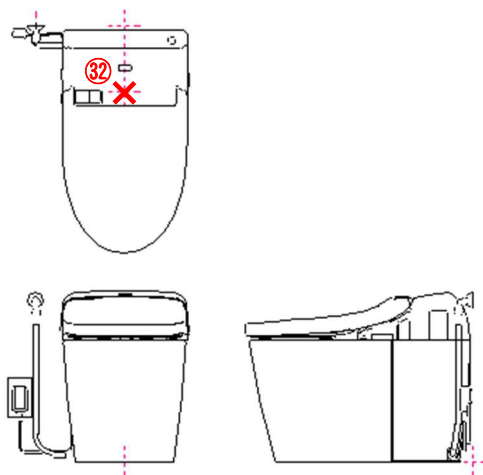
☐ 登録終了

㉑ OK

- ②④ <入口点1 設定...>ボタンをクリックします。

- ②⑤ 「接続可能な主用途」から接続する配管の用途「污水排水」を選択します。
 ②⑥ 「接続点高さ」に污水管の高さ「0」とキー入力します。
 ②⑦ 「口径」に污水管の口径「75」とキー入力します。
 ②⑧ 「管の接続方向」から「下」を選択します。
 ②⑨ <閉じる>ボタンをクリックします。

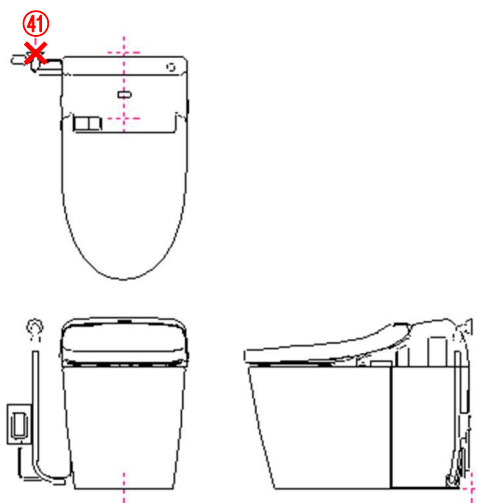
- ③⑩ 「入口点1 を指示する」を選択します。
 ③⑪ <OK>ボタンをクリックします。
 ③⑫ 平面図上で「入口点1」に設定する污水管の位置をクリックします。



- ③③ <入口点2 設定...>ボタンをクリックします。

- ③④ 「接続可能な主用途」から接続する配管の用途「上水給水」を選択します。
- ③⑤ 「接続点高さ」に給水管の高さ「500」とキー入力します。
- ③⑥ 「口径」に給水管の口径「15」とキー入力します。
- ③⑦ 「管の接続方向」から「↓」を選択します。
- ③⑧ <閉じる>ボタンをクリックします。

- ③⑨ 「入口点2を指示する」を選択します。
- ④① <OK>ボタンをクリックします。
- ④① 平面図上で「入口点2」に設定する給水管の位置をクリックします。

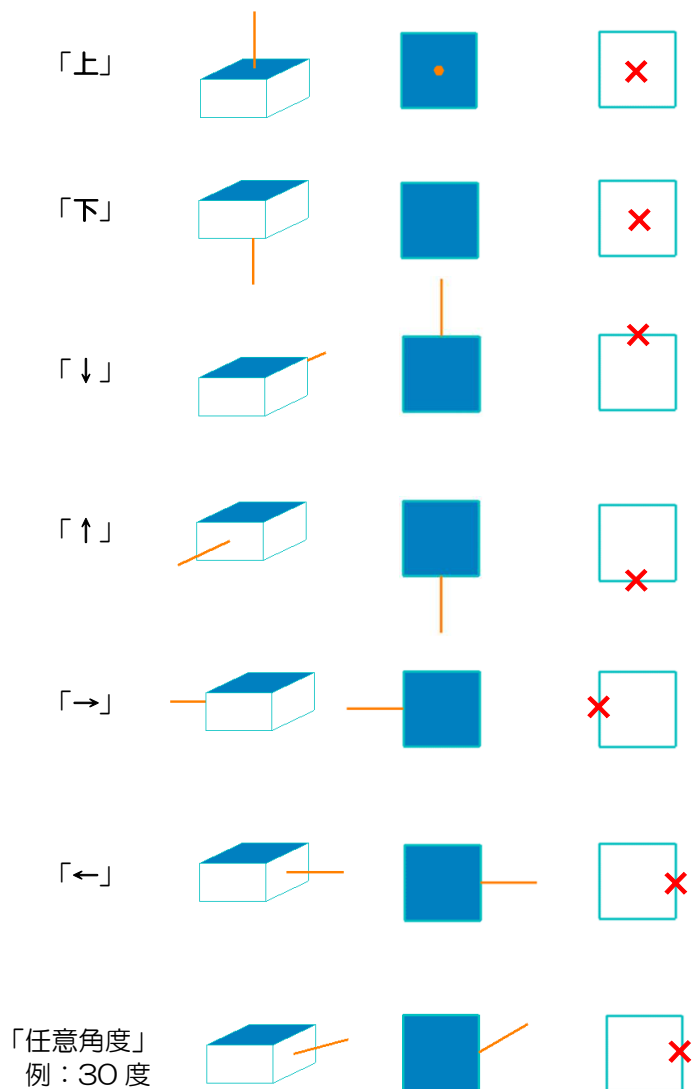


- ④② 「登録終了」を選択します。
- ④③ <OK>ボタンをクリックします。

「管の接続方向」について

機器に対してどのように配管がつながるか選択します。

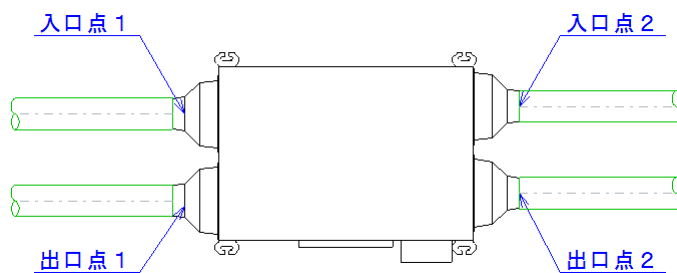
平面図での指示位置



「入口点」「出口点」について

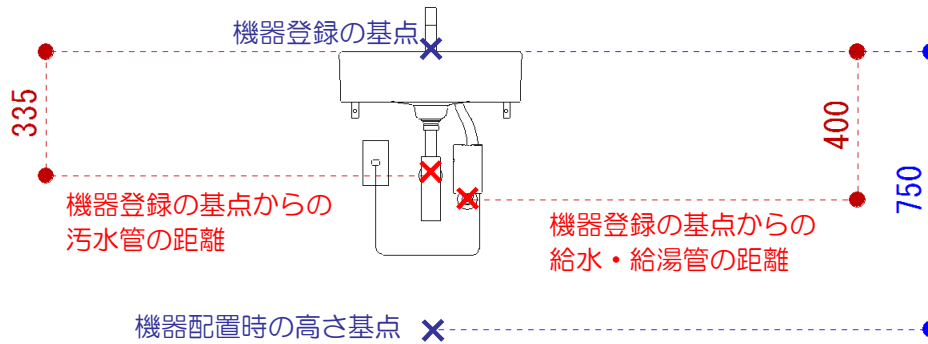
1つの機器に対して4個まで接続点を設定できます。入口点1・出口点1などの名称は、配管用途などに影響するものではありません。

機器同士、または一般図形と機器を組み合わせで機器登録することで、5個以上の接続点を設定できます。



● 洗面器の登録 ●

機器登録の基点と機器配置時の高さ基点が異なる場合の登録方法

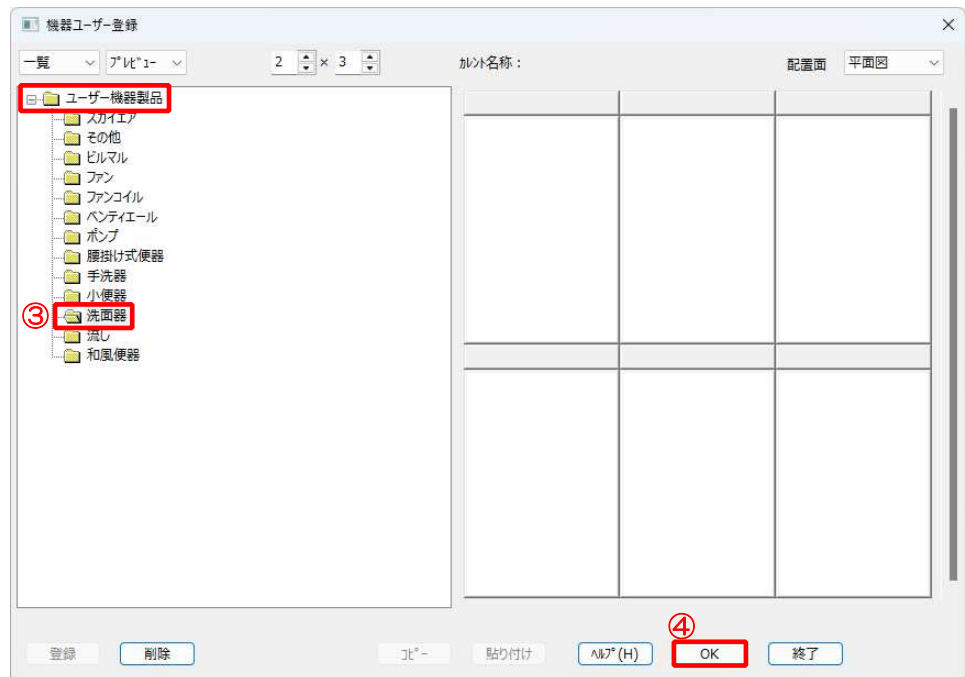


① [衛生]タブをクリックします。



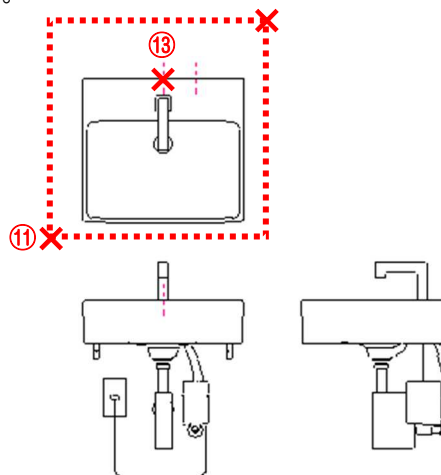
② [機器]-[機器ユーザー登録]コマンドを実行します。

③ 左側の階層表示より「ユーザー機器製品」-「洗面器」を選択します。



④ <OK>ボタンをクリックします。

- ⑤ 「型番」に機器の型番をキー入力します。
- ⑥ 「部品名称」に機器の名称をキー入力します。
- ⑦ 「部品高さ」に「750」とキー入力します。
- ⑧ 「部品種類」から「衛生機器」を選択します。
- ⑨ 「処理」から「平面図を指示する」を選択します。
- ⑩ <OK>ボタンをクリックします。
- ⑪ 平面図を選択します。
- ⑫ 右クリックで確定します。
- ⑬ 基点をクリックします。



機器ユーザー登録

型番 L710 ⑤

部品ファイル名 L710

部品名称 L710 ⑥

部品高さ 750 mm ⑦

部品種類 衛生機器 ⑧

入口点1設定... 入口点2設定...

出口点1設定... 出口点2設定...

処理

☒ 平面図を指示する ⑨

☐ 正面図を指示する

☐ 右側面図を指示する

☐ 左側面図を指示する

☐ 背面図を指示する

☐ 入口点1を指示する

☐ 入口点2を指示する

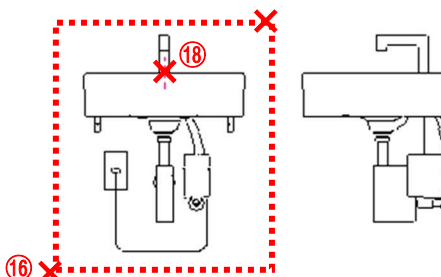
☐ 出口点1を指示する

☐ 出口点2を指示する

☐ 登録終了

⑩ OK キャンセル ヘルプ(H)

- ⑭ 「処理」から「正面図を指示する」を選択します。
- ⑮ <OK>ボタンをクリックします。
- ⑯ 正面図を選択します。
- ⑰ 右クリックで確定します。
- ⑱ 基点をクリックします。



機器ユーザー登録

型番 L710

部品ファイル名 L710

部品名称 L710

部品高さ 750 mm

部品種類 衛生機器

入口点1設定... 入口点2設定...

出口点1設定... 出口点2設定...

処理

☐ 平面図を指示する

☒ 正面図を指示する ⑭

☐ 右側面図を指示する

☐ 左側面図を指示する

☐ 背面図を指示する

☐ 入口点1を指示する

☐ 入口点2を指示する

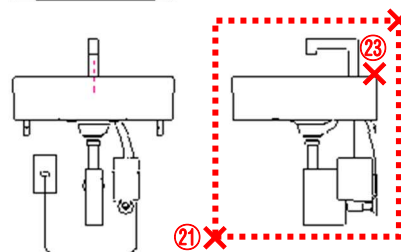
☐ 出口点1を指示する

☐ 出口点2を指示する

☐ 登録終了

⑮ OK キャンセル ヘルプ(H)

- ⑲ 「処理」から「右側面図を指示する」を選択します。
- ⑳ <OK>ボタンをクリックします。
- ㉑ 右側面図を選択します。
- ㉒ 右クリックで確定します。
- ㉓ 基点をクリックします。



機器ユーザー登録

型番 L710

部品ファイル名 L710

部品名称 L710

部品高さ 750 mm

部品種類 衛生機器

入口点1設定... 入口点2設定...

出口点1設定... 出口点2設定...

処理

☐ 平面図を指示する

☐ 正面図を指示する

☒ 右側面図を指示する ⑲

☐ 左側面図を指示する

☐ 背面図を指示する

☐ 入口点1を指示する

☐ 入口点2を指示する

☐ 出口点1を指示する

☐ 出口点2を指示する

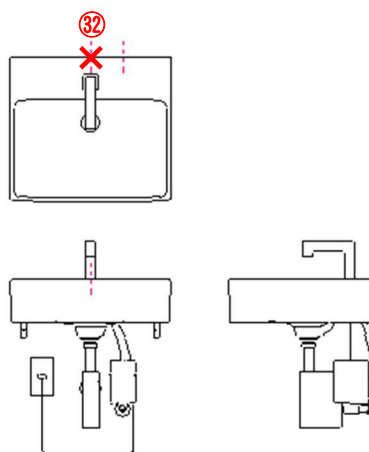
☐ 登録終了

㉑ OK キャンセル ヘルプ(H)

- ②④ <入口点1 設定...>ボタンをクリックします。

- ②⑤ 「接続可能な主用途」から接続する配管の用途「污水排水」を選択します。
 ②⑥ 「接続点高さ」に污水管の高さ「-335」とキー入力します。
 ②⑦ 「口径」に污水管の口径「30」とキー入力します。
 ②⑧ 「管の接続方向」から「↓」を選択します。
 ②⑨ <閉じる>ボタンをクリックします。

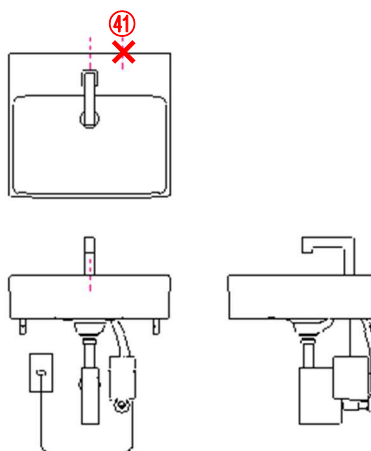
- ③① 「入口点1 を指示する」を選択します。
 ③② <OK>ボタンをクリックします。
 ③③ 平面図上で「入口点1」に設定する污水管の位置をクリックします。



- ③③ <入口点2 設定...>ボタンをクリックします。

- ③④ 「接続可能な主用途」から接続する配管の用途「上水給水」を選択します。
- ③⑤ 「接続点高さ」に給水管の高さ「-400」とキー入力します。
- ③⑥ 「口径」に給水管の口径「15」とキー入力します。
- ③⑦ 「管の接続方向」から「↓」を選択します。
- ③⑧ <閉じる>ボタンをクリックします。

- ③⑨ 「入口点2を指示する」を選択します。
- ④① <OK>ボタンをクリックします。
- ④② 平面図上で「入口点2」に設定する給水管の位置をクリックします。

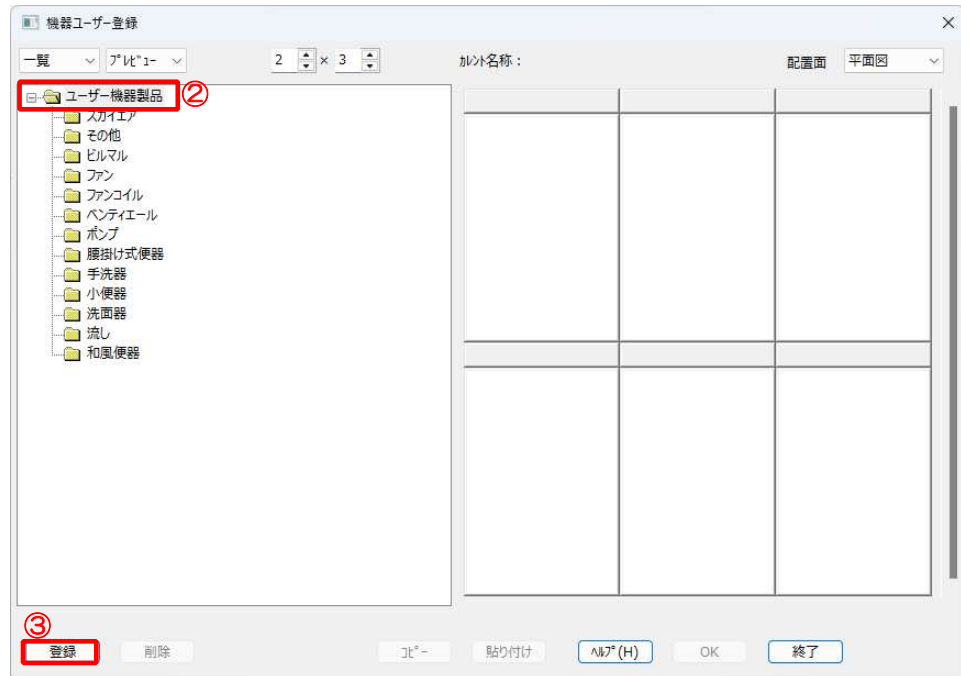


- ④② 「登録終了」を選択します。
- ④③ <OK>ボタンをクリックします。

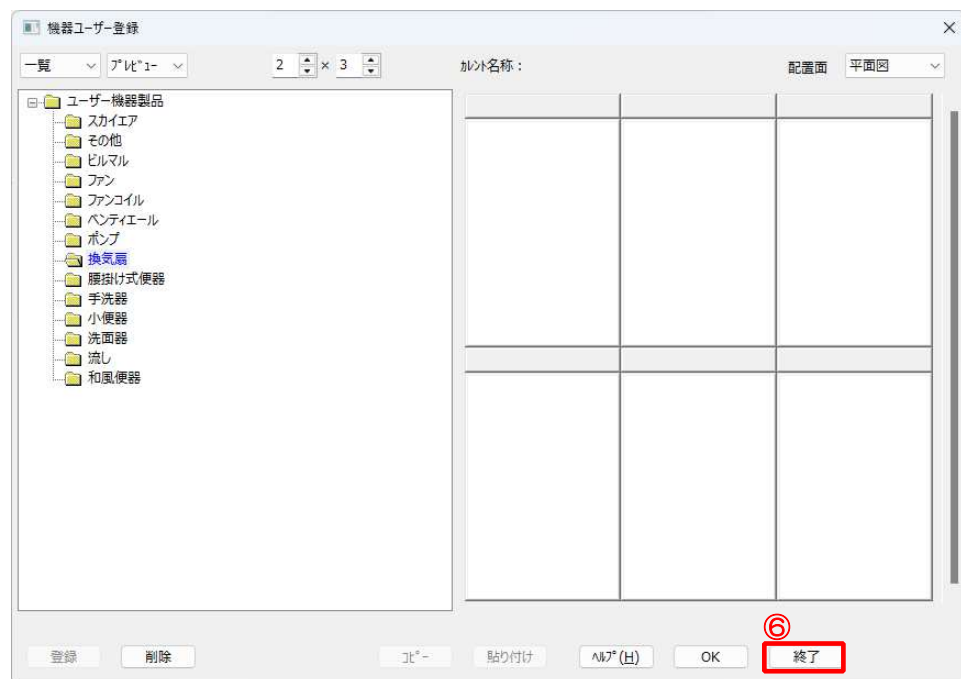
新しいフォルダの作成方法

登録するフォルダが「ユーザー機器製品」の中にある場合、新しくフォルダを作成します。

- ① [機器]-[機器ユーザー登録]コマンドを実行します。
- ② 「ユーザー機器製品」フォルダをクリックします。



- ③ <登録>ボタンをクリックします。
- ④ 「フォルダ名称」にフォルダ名をキー入力します。
- ⑤ <登録>ボタンをクリックします。



- ⑥ <終了>ボタンをクリックします。

● 3Dの登録 ●

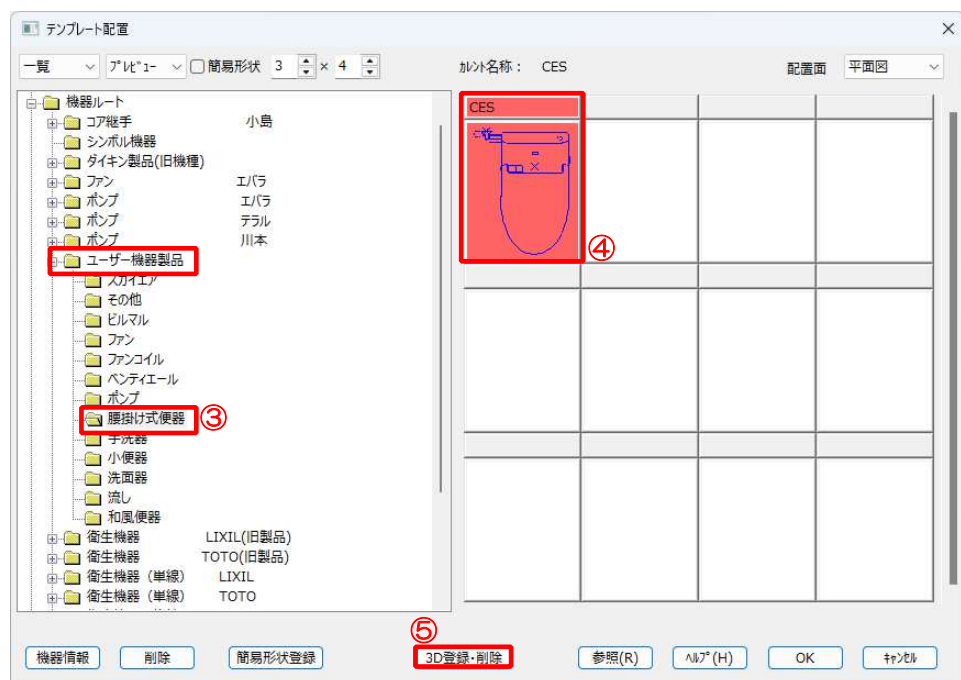
ダウンロードした 3DDXF のデータを機器の情報に関連付けて、3D 表示に反映します。

① [衛生]タブをクリックします。



② [部材配置]-[テンプレート配置]コマンドを実行します。

③ 左側の階層表示より「機器ルート」-「ユーザー機器製品」-ユーザー登録したフォルダ「腰掛け式便器」を選択します。



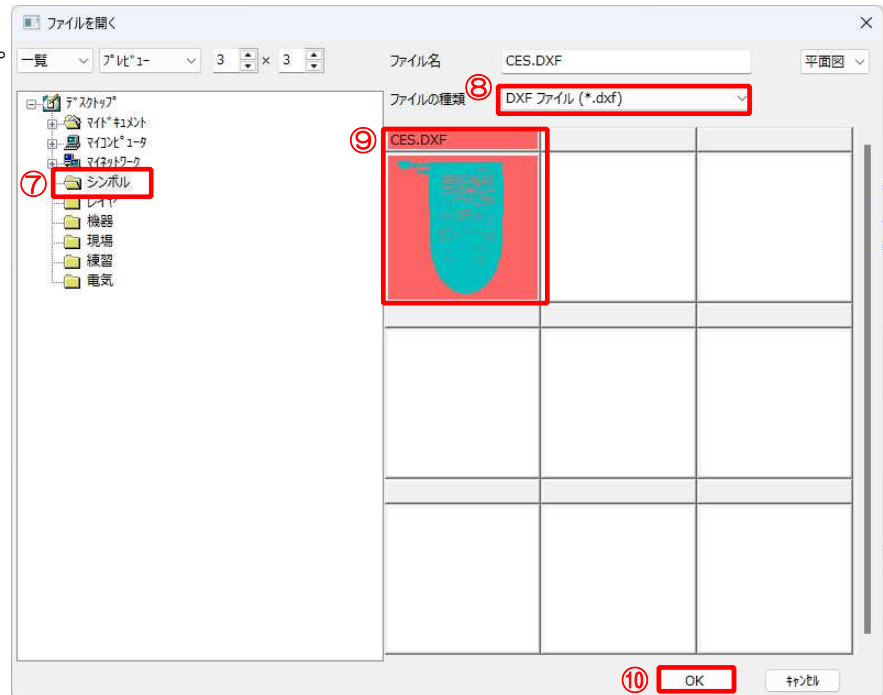
④ ユーザー登録した機器「CES」を選択します。

⑤ <3D登録・削除>ボタンをクリックします。

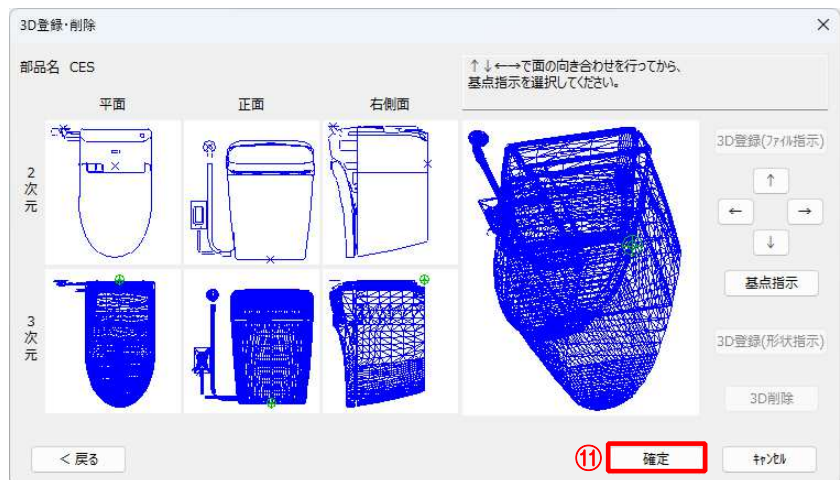
⑥ <3D登録 (ファイル指示)>ボタンをクリックします。



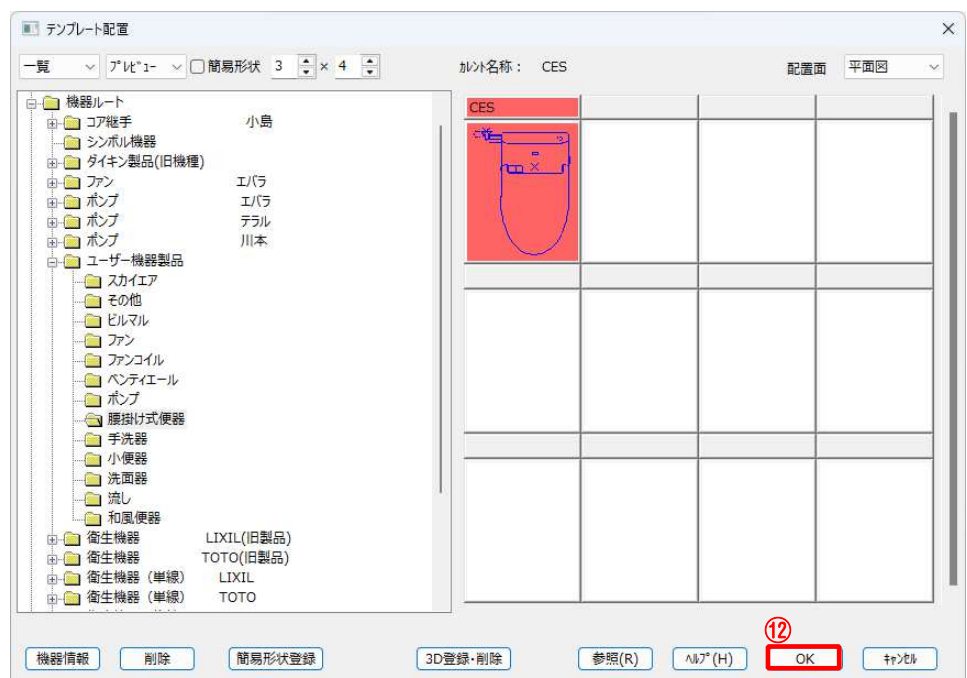
- ⑦ 3DDXF のデータが保存されているフォルダを選択します。
- ⑧ 「ファイルの種類」から「DXF ファイル (*.dxf)」を選択します。
- ⑨ 登録するデータを選択します。
- ⑩ <OK>ボタンをクリックします。



- ⑪ <確定>ボタンをクリックします。



- ⑫ <OK>ボタンをクリックします。



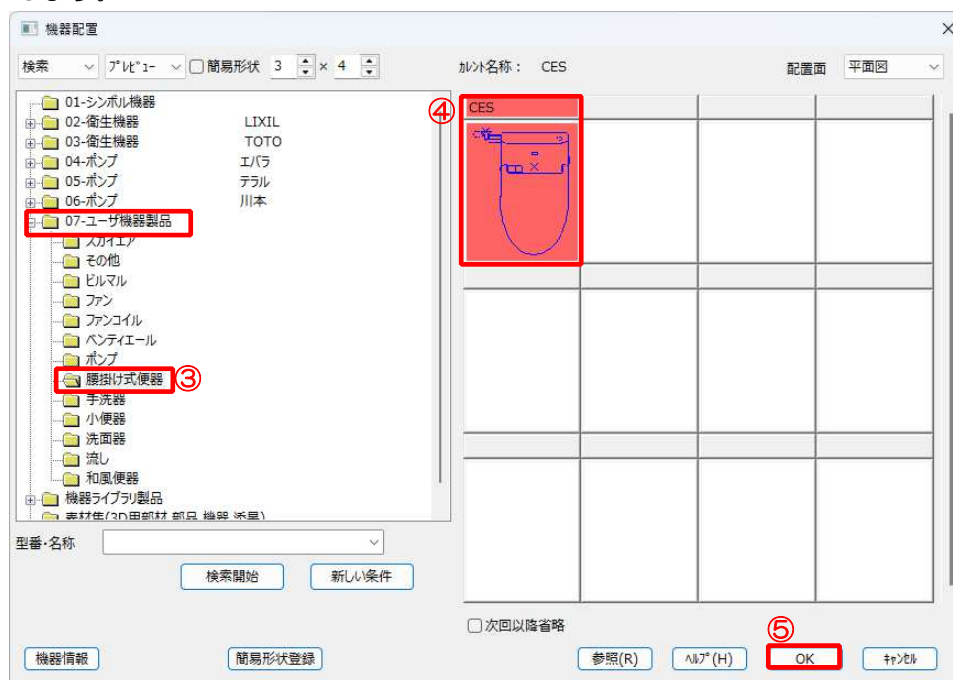
機器の配置

● 機器の配置 ●

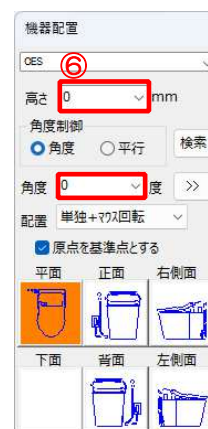
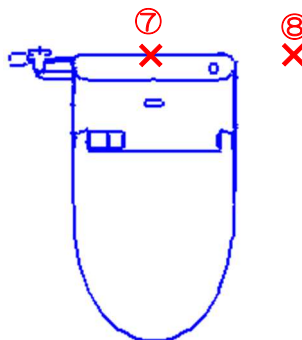
- ① [衛生]タブをクリックします。



- ② [機器]コマンドを実行します。
 ③ 左側の階層表示より「ユーザ機器製品」-ユーザー登録したフォルダ「腰掛け式便器」を選択します。
 ④ ユーザー登録した機器「CES」を選択します。
 ⑤ <OK>ボタンをクリックします。



- ⑥ 「機器配置」ダイアログに「高さ」や「角度」を設定します。
 ⑦ 配置位置をクリックします。
 ⑧ 配置方向をクリックします。



機器のバックアップ

機器ユーザー登録した機器のバックアップを行います。
このバックアップしたデータを他の PC の FILDER SiX へコピーすることも可能です。

● MasterUtility の起動 ●

- ① FILDER SiX を終了します。
※ FILDER SiX を起動した状態で②からの操作を実行すると、メッセージが表示されます。



- ② Windows スタートボタンをクリックします。



- ③ 「すべて」または「すべてのアプリ」をクリックします。



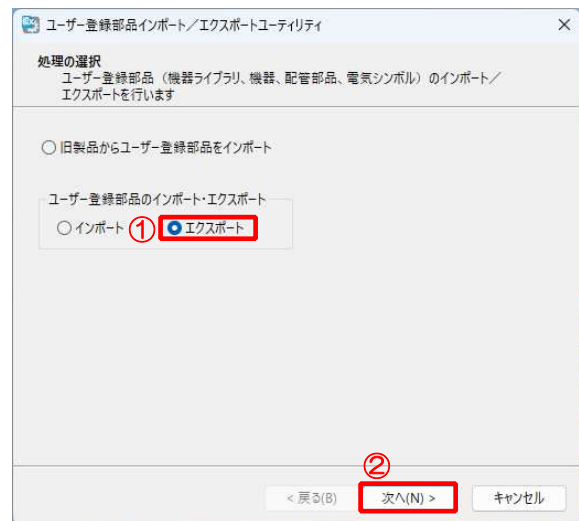
- ④ 「FILDER SiX」フォルダ内の「MasterUtility」を選択します。



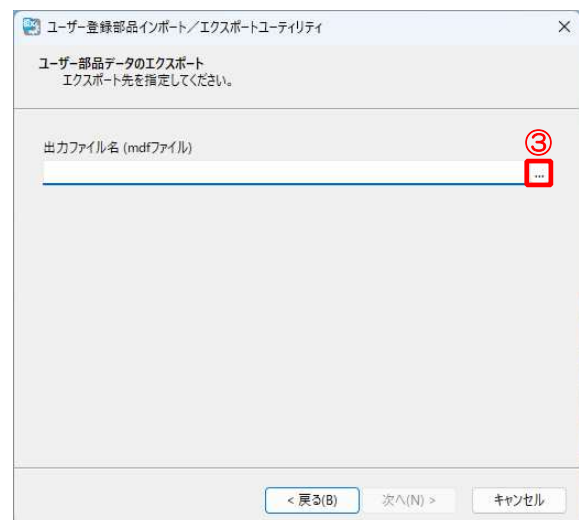
● エクスポート ●

機器データをファイルへ出力します。

- ① 「エクスポート」を選択します。
- ② <次へ>ボタンをクリックします。



- ③ 「出力ファイル名」の<...>ボタンをクリックします。

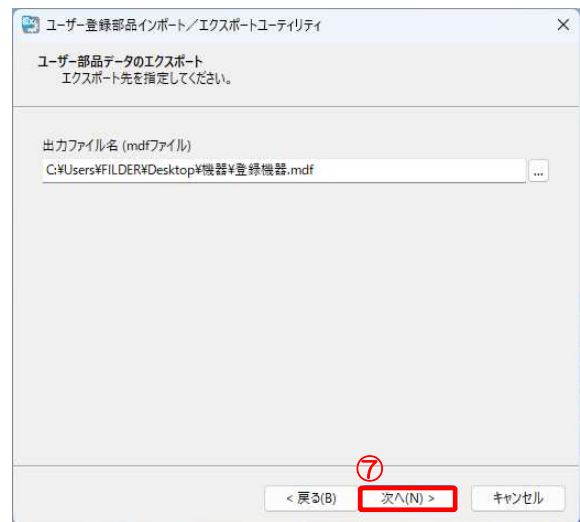


- ④ 保存するフォルダを選択します。

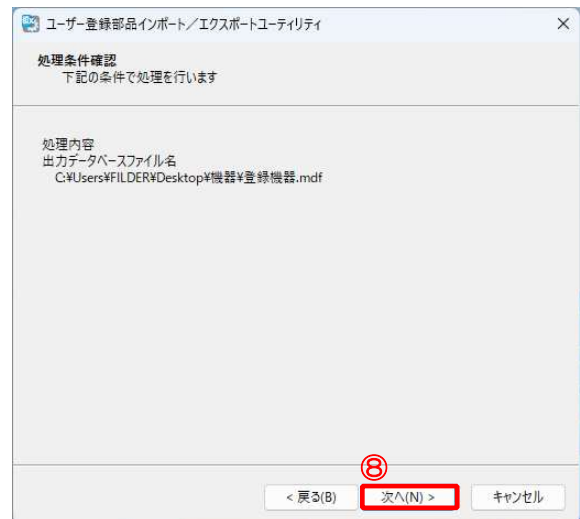


- ⑤ 「ファイル名」をキー入力します。
- ⑥ <開く>ボタンをクリックします。

⑦ <次へ>ボタンをクリックします。

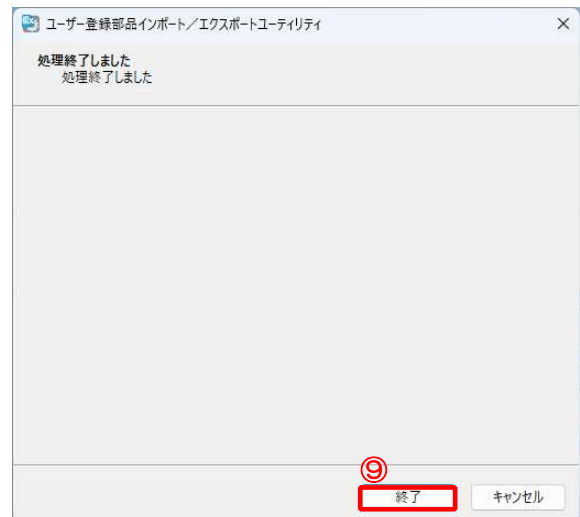


⑧ <次へ>ボタンをクリックします。



⑨ <終了>ボタンをクリックします。

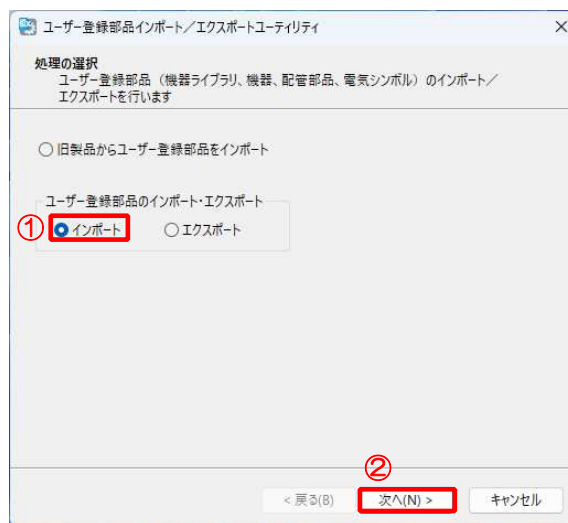
※ 出力されたファイルを他のパソコンへコピーし、機器データのインポートを行います。



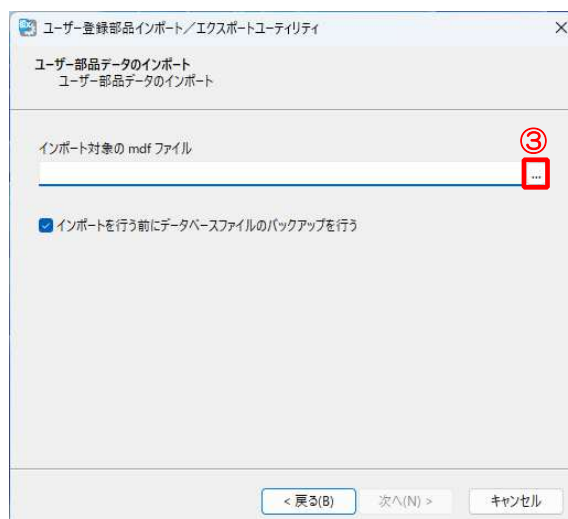
● インポート ●

エクスポートした機器データをインポートします。

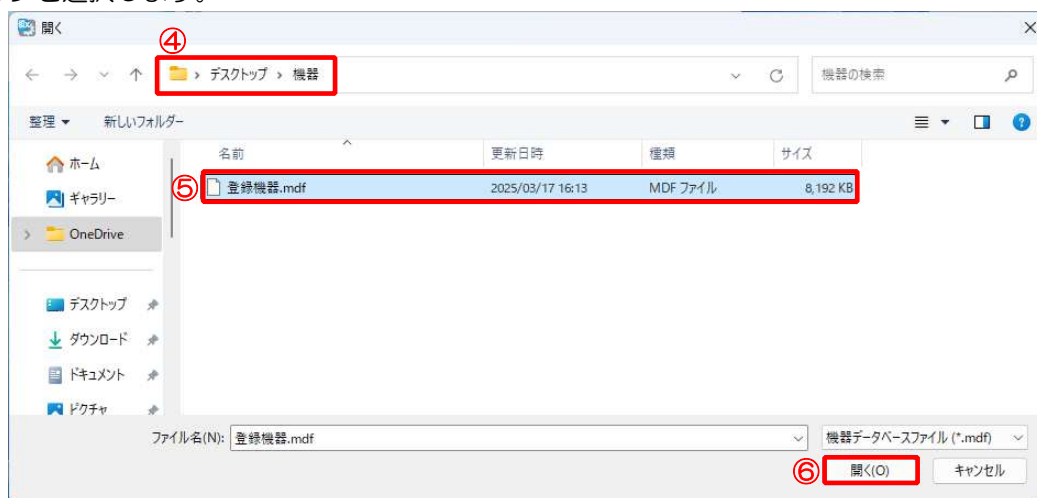
- ① 「インポート」を選択します。
- ② <次へ>ボタンをクリックします。



- ③ 「インポート対象の.mdl ファイル」の<...>ボタンをクリックします。

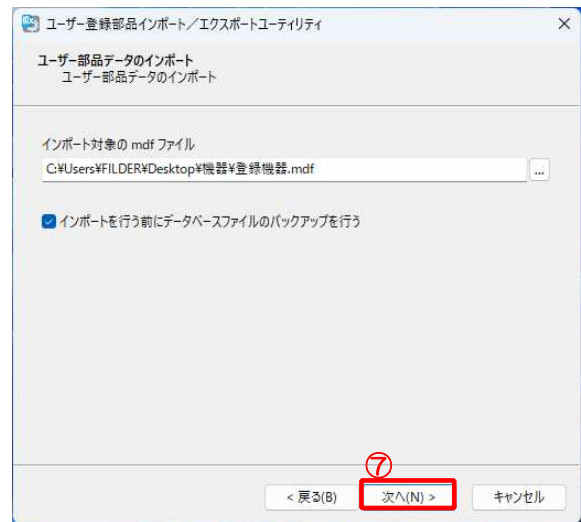


- ④ 保存したフォルダを選択します。

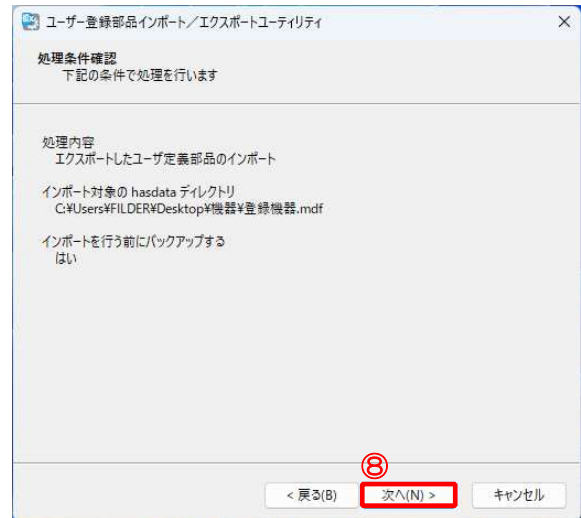


- ⑤ 保存したファイル名を選択します。
- ⑥ <開く>ボタンをクリックします。

⑦ <次へ>ボタンをクリックします。



⑧ <次へ>ボタンをクリックします。



⑨ <終了>ボタンをクリックします。

